

琉球弧・宮古島の 軍事要塞化と戦争準備

いま、琉球弧の島々では急速に軍事基地化が進み、
そこに暮らす人々は、日常生活の中に戦争前夜の空気、
命が脅かされる危険を感じている。
多くの映像（写真・動画）などの正確な最新情報によって、
この受け入れ難い「不都合な真実」を伝えたい。

日 時：2025年**10**月**16**日（木）19:00～21:00（18:30 開場）

講 師：清水早子さん（ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会共同代表）

会 場：東京 YWCA 会館カフマンホール（JR 御茶ノ水駅徒歩4分）

参加費：1000円 学生無料（学生証提示）

*見逃し配信 500円



東京YWCA HP



Peatix



清水早子さん（しみずはやこ）

ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会
共同代表。
1995年より宮古島にて教育労働者として
就労。島の子どもたちと向き合いなが
ら、島の軍事化に反対し、反戦反基地の
市民運動に取り組んで四半世紀。
フェイスブック「いんしゃあかなす」
「NO MISSILE MIYAKOJIMA」
ブログ「ryukyuheiva 琉球弧の軍事基地
化に反対するネットワーク」等で発信し
ている。



主 催：公益財団法人東京 YWCA 平和と正義委員会
東京都千代田区神田駿河台 1-8-11
TEL.03-3293-5456



軍事要塞化する宮古島



航空自衛隊宮古島分屯地レーダー基地



一般公道を走行訓練するミサイル車両



陸上自衛隊宮古島駐屯地（千代田）



自衛隊員の行軍（多良間村）



宮古島の広報誌 基地のある地域の新成人が旭日旗を背景に撮影した写真（上段左 2024 年 2 月）



国会前行動に 2000 人結集
(2023 年 11 月 23 日)



ミサイル部隊配備に抗議ゲート前集会でゲートを封鎖させる (2020 年 3 月 21 日)

東京 YWCA 会館 地図



清水早子さんの寄稿論文・レポート

- ・「フォトレポート『下地島空港』の軍事利用を許さない」2002 年
- ・「国策に翻弄される沖縄・宮古島『下地島空港』」2007 年
- ・「宮古諸島・重層する被支配の歴史」2009 年
- ・「追体験・宮古島 1945 ~ 1972」2012 年
- ・「宮古島軍事化フォトレポート 2022 軍事要塞化と調う戦争準備」2022 年
※ いずれも労働総合誌「飛礫」に寄稿
- ・「オキナワ・宮古島で考える『ゆいまーる』のオルタナティブ」2011 年
※ アジア女性資料センター「女性たちの 21 世紀」65 号
- ・「けーし風」（新沖縄フォーラム刊行季刊誌）に宮古島闘いのレポート
※ 2017 年、2018 年、2019 年、2021 年、2023 年に寄稿
- ・「琉球弧の軍事要塞化と日米軍再編」2022 年
※ コンパス 21 刊行委員会発行「コンパス 21」vol.25
- ・「島はどう変わったか ミサイル基地がやって来た観光の島・宮古島」
※ 建築ジャーナル 2025 年 7 月号